

始良市

NPO法人 Lab 蒲生郷

～“カモコレ”で地域の魅力を発信し、地域活力を創造～

団体の紹介・活動の目的

Lab蒲生郷は、三つのLab「collaboration(様々な主体と協働し)・laboratory(地域で実験をしながら)・labor(新たな価値を産みだす)」で蒲生の青少年育成・まちづくりを柱に活動を行っている。

将来の地域の担い手となる青少年を中心に、地域の住民に対して、自然や文化・芸術を体験・体感できる場を提供し、芸術文化の振興や環境保全、国際理解に関する事業等を行い、将来を担う人材育成を図るとともに、地域安全活動等の住民参加型のまちづくりに関する事業を行い、地域社会の発展に寄与することを目的としている。

活動の内容

NPO活動として、文化や芸術振興に関する普及・啓発事業、青少年の健全育成に関する研修事業、国際理解や国際親善を図る事業、まちづくり推進に関する事業、地域の観光振興に関する事業等に取り組んでおり、特に、着地型観光「カモコレ」では、蒲生のまちづくりを志す様々な団体・グループ・個人と協働し地域の魅力を発信している。また、「学びのカモコレ」では、地元蒲生を中心に新たな人材を講師として活用し、特色ある講座を開設することで、地域住民と新たに移住してきた方との接点をつくり、新たな地域の活力の創造に努めている。



蒲生小学校と連携して実施した環境学習「測ってみよう大楠のCO2」事業では、大楠がこれまで吸収してきたCO2の量を可視化するために熱気球をあげた様子



蒲生郷土誌に残る民話に地域子どもたちが関心をもってもらうため、認定子ども園や小中学校、史談会等と協力して、絵本を制作し、発表した様子



蒲生ふるさと交流館のオープニングセレモニーに併せてイベント「みどりのカモコレ」を実施したときの協力スタッフの集合写真

4 着地型観光「カモコレ」実施事業（鹿児島県始良市）

事業の概要

着地型観光「カモコレ」は、蒲生地域の人や自然、文化、空間を最大限に活用し、多種多様なメニューを住民参加型で企画し、イベントを通して地域の良さを広くPRする事で、地域の活性化を図るものである。

事業の内容

- ◆事業主体:カモコレ実行委員会(事務局 NPO法人Lab蒲生郷)
- ◆事業内容:着地型観光「カモコレ」VOL.8
 - ・開催会場:始良市蒲生町一円(各メニュー実施場所)
 - ・開催期間:平成27年2月22日から平成27年3月15日まで
 - ・メニュー数:20
- ◆総事業費:平成25年度 総事業費 2.2百万円
- ◆取組経過:事業開始 平成21年度 カモコレ実施回数 8回(H26年度含む)

事業の成果・効果

【交流人口の拡大】
地域にある活用、発展可能な、人や文化等の財産を引き出し、一元化したプログラムの中で広くPRする事で、地域の魅力を知ってもらい、地域のファンズリに効果を発揮しており、併せて交流人口の増加につながっている。

【起業・定住者の増加】
回を重ねるごとに住民のまちづくりへの意欲が刺激され、プログラムへの参加者が増えるとともに、新たに起業する者や地域外からの定住者が現れてきた。

【地域への新たな風】
新たな起業家や定住者にとって、カモコレに参画することによって、地域で生活していくためのベースづくりとなり、地域へ新たな風を吹き込み地域の活性化へつながってきている。

<カモコレスキーム>

着地型観光(カモコレ)とは

2. 着地型観光メニュー

1. 観光キャンペーン

蒲生郷(蒲生町) 蒲生へカモコレ 町内(町外)

蒲生の魅力を知ってもらい、実際に来て触れてもらうことで、蒲生との絆を深めてもらいたい。

着地型観光「カモコレ」VOL.7 公式ガイドブック

全てのメニューの紹介
県内各スポットに配布
蒲生地域全体をPR

メニュー例

① 小学校でかき紙 ② 親子で森遊び

ホームページ <http://kamo-go.net/>

着地型観光「カモコレ」の実施内容。平成27年は2月22日～3月15日の期間にカモコレVol.8を開催。